吉崎別院便り

バラバラでいっしょ！

になれるところ

真夏の報恩講を勤修

猛暑のなか、たくさんの参詣者

大聖寺教区・出雲路修師

小松教区・林拡師

五色幕張り作業の様子

お荘厳を整える

7月21日、別院とご縁の深いお同行12名が、山門や本堂に紋幕・五色幕を張る作業や、堂内・館内の清掃などに汗を流しました。

蒸し暑い中、約二時間にも及ぶ奉仕活動となりましたが、気持ちを新たに、真宗寺院にとって一番大切な報恩講をお迎えします。

7月24から26日の日程で報恩講が勤まりました。連日の猛暑のなか、福井・大聖寺・小松の三教区を中心に、愛知県や東京都などから約１００人のご門徒が報謝の志をはこびました。

25日初夜、列座によって拝読された『御伝鈔』を拝聴した福井県の御同行は、「初めて拝聴しましたが、たいへん素晴らしい拝読でした。とても感動しました。」と語ってくださいました。また、26日のご満座には、「福井教区第六組推進員養成講座」を受講の御同行10名も参詣をし、林拡師（本年蓮如上人御影道中・御下向随行教導、小松教区第二組・誓立寺住職）の熱心な語り掛けを受け、「報恩講」の大切な意味を再確認する場を共有しました。

発行者：　真宗大谷派吉崎別院　輪番　辻森正顯　ホームページ　吉崎東別院　検　索